

保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：平成31年2月26日

事業所名 あおい学園

保護者等数(児童数) 30

回収数 30

割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	28	1		1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(※1)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	1		1	本人がここはどういう場所かというのをわかってないと思う。	平成29年2月より新園舎(現地建て替え)に入り、その後も不十分な箇所等確認されれば整備、改良を随時行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29	1				
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	28	1		1		保護者の意向を十分把握し、支援に努める。
	⑥	児童発達支援計画「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	1		4	個人情報もあるかと思いますが、卒園児さんの就学先を具体的に知りたいです。	より幅広く情報提供を行っていく。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29			1		
	⑧	活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	22	3		4		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	16	7	同じ年頃の子どもと接する機会を増やしてほしい。子どもにとってはこういう機会も良い刺激になると思います。是非取り入れていただきたいです。	変化に弱い児が多く、他園等との交流は困難と考えている。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	2		2		今後も十分な周知に努める。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	28			2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)が行われているか	16	3	4	7	母親学級でペアレントトレーニングをしてほしい。	専門医を招いた学習会を実施している。保護者との個々の相談を随時行う。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	30					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	1		1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	4		1	母親学級など参加している人としていない人とはあまりコミュニケーション取れていない？	保護者会等行事参加が困難な家庭には、園よりの補完に努める。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	1		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	4	2	8	「業務に関する自己評価の結果」というのがよくわからなくて「わからない」につけています。園だよりのみなので、ホームページやSNSを利用するのもありだと思う。	事業所評価は初めての取り組み。評価結果を保護者に発信、ホームページに掲載するとともに、今後のより良い支援推進のため、活用していく。

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	26	3		1	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	24	4		2	訓練をしているのは知らせてもらっていますが、マニュアルの事はよくわからないので。園玄関に掲示、周知を図っている。また、未整備となっている感染症対応マニュアルを作成、保護者への周知を図る。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28			2	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	27	2	1		花マル。とても喜んで通っています。毎日笑顔で通所している。まだ楽しめる場所という認識がないと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	29			1	花マル。子どもの笑顔を見ていると、通所できて良かったと心から感謝と満足です。

(注釈)

- ※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ※2 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画は、児童発達支援・放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- ※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- ※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。